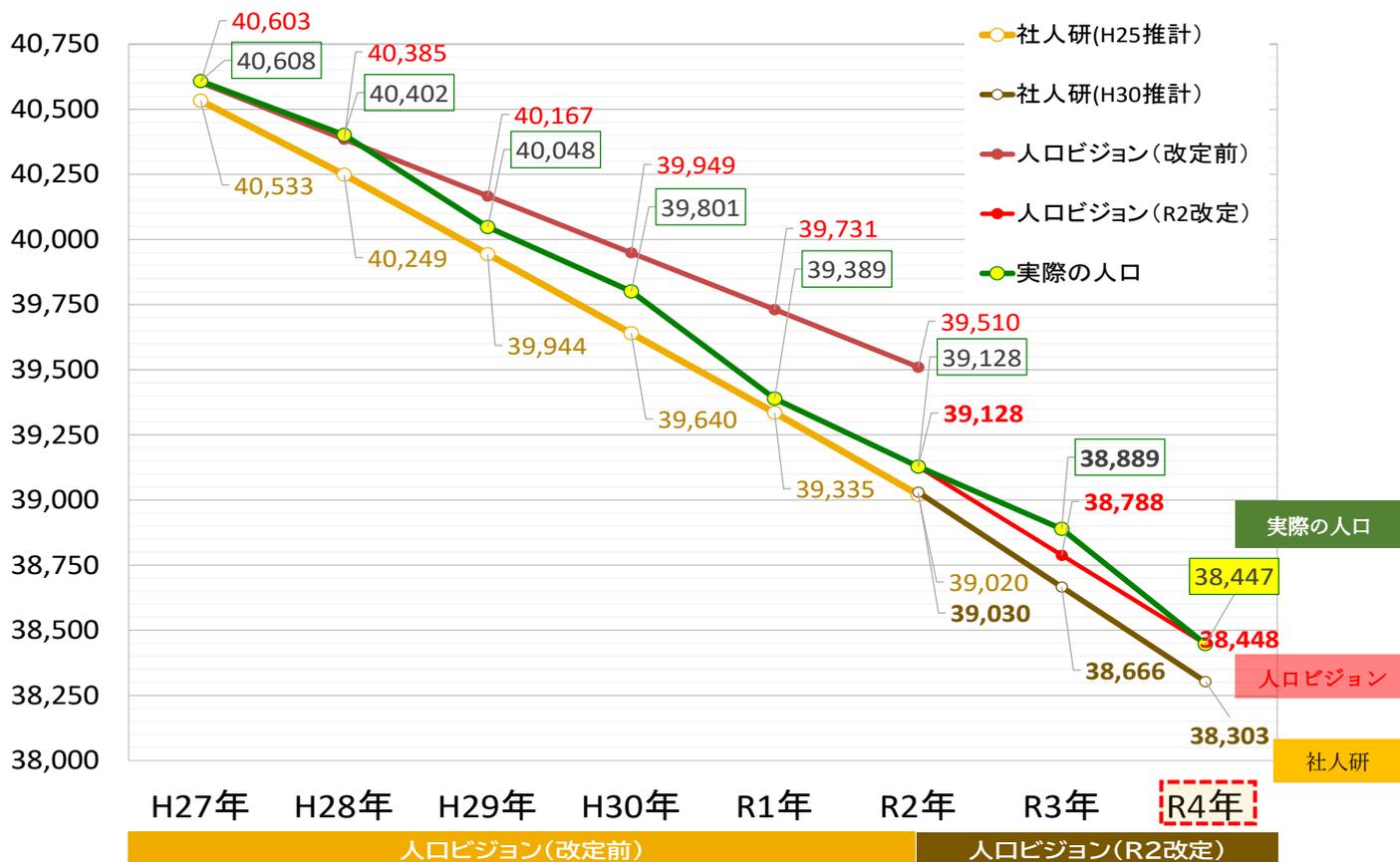


見附市人口ビジョンの達成状況（令和4年度）

1. 人口推移予測と実際の推移比較



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
改定前	社人研(H25 推計)	40,533	40,249	39,944	39,640	39,335	39,020		
	人口ビジョン	40,603	40,385	40,167	39,949	39,731	39,510		
改定後	社人研(H30 推計)						39,030	38,666	38,303
	人口ビジョン(R2 改訂)						39,128	38,788	38,448
実際の人口	40,608	40,402	40,048	39,801	39,389	39,128	38,889	38,447	
社人研比	+55	+153	+104	+161	+54	+98	+223	+145	
人口ビジョン比	+5	+18	-118	-146	-340	0	+101	-1	

※1) 社人研は H30 公表値、人口ビジョンは R2 改訂値に更新した。

※2) 人口推移は新潟県人口移動調査より。毎年 10 月 1 日～翌年 9 月末日までの期間とした。

※3) 実際の社人研、創成会議、人口ビジョンの推移予測は 5 年ごとのため、色付きの部分については、その間の推移予測を 5 で割って、1 か年あたりの推移予測とした。

【R4 社会動態のポイント】 ※かっこ書きは前年比

- ・社人研比は+145人でプラス推移。前年比ではプラス幅縮小。人口ビジョン比は-1人でマイナスに転じた。
- ・社会動態が-153人となった。H27以降、R2に+8人となり、R3から2年連続マイナスになった。
- ・主な減少要因として、R1年に造成を完了した大規模な住宅用地がR3に分譲を概ね完了したことや、新たな住宅用地の開発行為が増加しなかったことが要因と推測される。

〈プラス要因〉

- ・年齢別では、20～24歳が-62人(+10人)と改善し、40～44歳が+25人(+31人)となりプラスに転じた。
- ・理由別では、職業理由が-132人(+34人)、学業理由が-47人(+12人)のマイナス幅が改善した。

〈マイナス要因〉

- ・年齢別では、0～14歳が-8人(-57人)、15～19歳が-38人(-8人)、25～29歳が-41人(-28人)、30～34歳が-22人(-44人)となり、若年層の転出超過が進んだ。
- ・理由別では、住宅理由が+33人(-107人)となりプラス幅が縮小し、家族理由が-25人(-43人)でマイナスに転じた。

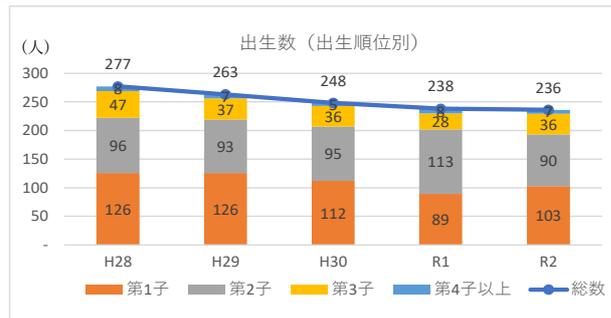
2. 目標の達成状況 (~R2 H27 人口ビジョン R3~ R2 改訂人口ビジョン)

(1) 出生数の維持 (達成状況)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
A 出生数	289	260	252	234	238	224	221
B 目標	300	300	300	300	300	250	250
達成度(A-B)	-11	-40	-48	-66	-62	-26	-29
達成状況	×	×	×	×	×	×	×
R4年 出生数の ポイント	<p>○出生数：221人（前年比-3人） ※かっこ書きは前年比</p> <ul style="list-style-type: none"> 出生数の9割を占める20～39歳の女性人口の減少率よりも、出生数の減少率は小さい。 20～39歳女性人口 R3：3,357人⇒R4：3,215人 前年比-142人（4.2%減少） 出生数 R3：224人⇒R4：221人 前年比-3人（1.3%減少） 第2子以上に比べて、第1子の減少傾向が大きい。 						

出生数（出生順位別）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
第1子	126	126	112	89	103
第2子	96	93	95	113	90
第3子	47	37	36	28	36
第4子以上	8	7	5	8	7



『2022 人口動態統計（各定数）の概況-新潟県版』

(集計基準日等の相違により数値が異なる)

(2) 年代別の人口減少の抑制 (達成状況)

① 【20歳代】年代別の人口減少の抑制 (達成状況)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
A 転入	373	346	340	358	361	356	343
B 転出	366	449	391	415	413	441	446
C 動態(A-B)	+7	-103	-51	-57	-52	-85	-103
D 目標	-40	-40	-40	-40	-40	-50	-50
達成度(C-D)	+47	-63	-11	-17	-12	-35	-53
達成状況	○	×	×	×	×	×	×
R4年 社会動態の ポイント	<p>○20代：-103人（前年比-18人） ※かっこ書きは前年比</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年比で転入（-13人）、転出（+5人）ともに悪化した。特に転出は、近年では高い水準であったR3を上回った。 理由別では、住宅が+6人（-47人）でプラス要因となり、職業が-109人（-22人）でマイナス要因となった。 						

② 【30歳代】年代別の人口減少の抑制 (達成状況)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
A 転入	241	264	267	237	218	220	185
B 転出	257	263	240	255	186	189	213
C 動態(A-B)	-16	+1	+27	-18	+32	+31	-28
D 目標	+55	+55	+55	+55	+55	+20	+20
達成度(C-D)	-71	-54	-28	-73	-23	+11	-48
達成状況	×	×	×	×	×	○	×
R4年 社会動態の ポイント	<p>○30代：-28人（前年比-59人） ※かっこ書きは前年比</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入は減少（-35人）、転出は増加（-24人）し、人口ビジョン策定以来最大の減少となった。 理由別では、住宅の+7人（-15人）と、戸籍の+5人（-7人）がプラス要因となり、職業の-25人（-12人）と、家族の-13人（-24人）がマイナス要因となった。 						